

テーマ2: 多様な学術情報の発見と活用を支援するツールを考える

レポートに悩む方へ
ここ掘れワンワン!
Docが教える
レポート・論文道案内サービス

平成28年度大学図書館職員短期研修（東京会場）第2班

縁山 由希	菅原 真紀
表 達也	常盤 哲平
香川 朋子	芳川 佳奈

第2班の提案

ディスカバリだけではない

学修・研究活動をフルサポートするツール
を提案します！

ユーザの属性に応じて

「探す」「調べる」「学ぶ（メモする）」

「執筆する」「提出（公開）する」

に使えるツールを適切にナビゲートします

現状



学生

- どうやって調べれば？何を使えば？
- 目的の情報に辿り着くまでのクリック数が多い

研究者

- 検索サービスがたくさんあり、探すのに時間がかかる
- 出張先／自宅からリモートアクセスができないと困る
- 研究データの管理に困る

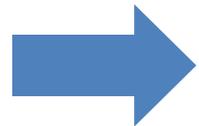
現状

図書館員

- ユーザの目的に沿った情報を適切にナビゲートできているのか・・・？
- 購入しているリソースの活用を促したい

一方で

- ひっ迫する図書館予算

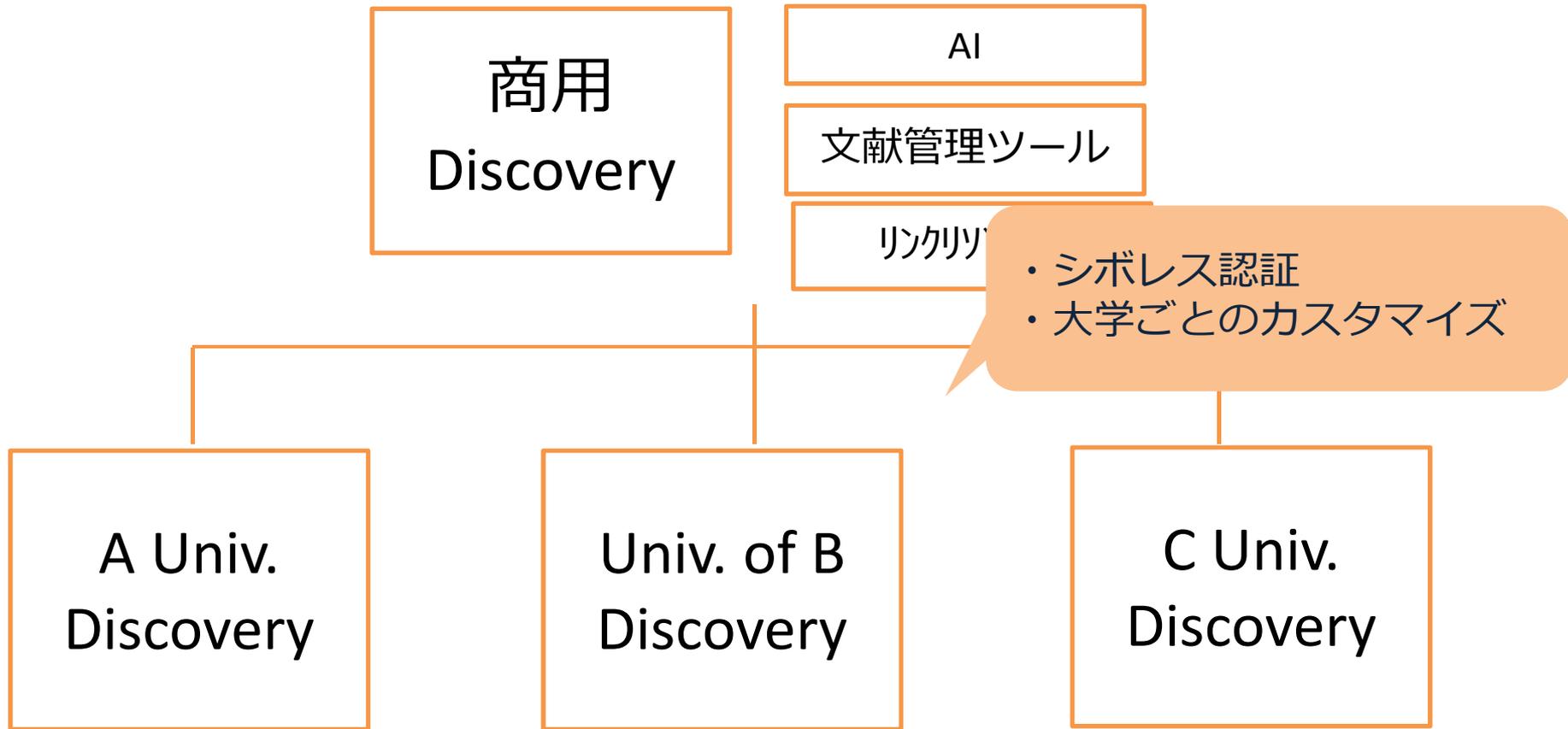


図書館業界全体で活用したい

目標

- ✓ ユーザが直感的に使えるサービス提供
- ✓ 購入しているリソースの活用
- ✓ 学外アクセスの提供
- ✓ 共通のサービスプラットフォーム構築

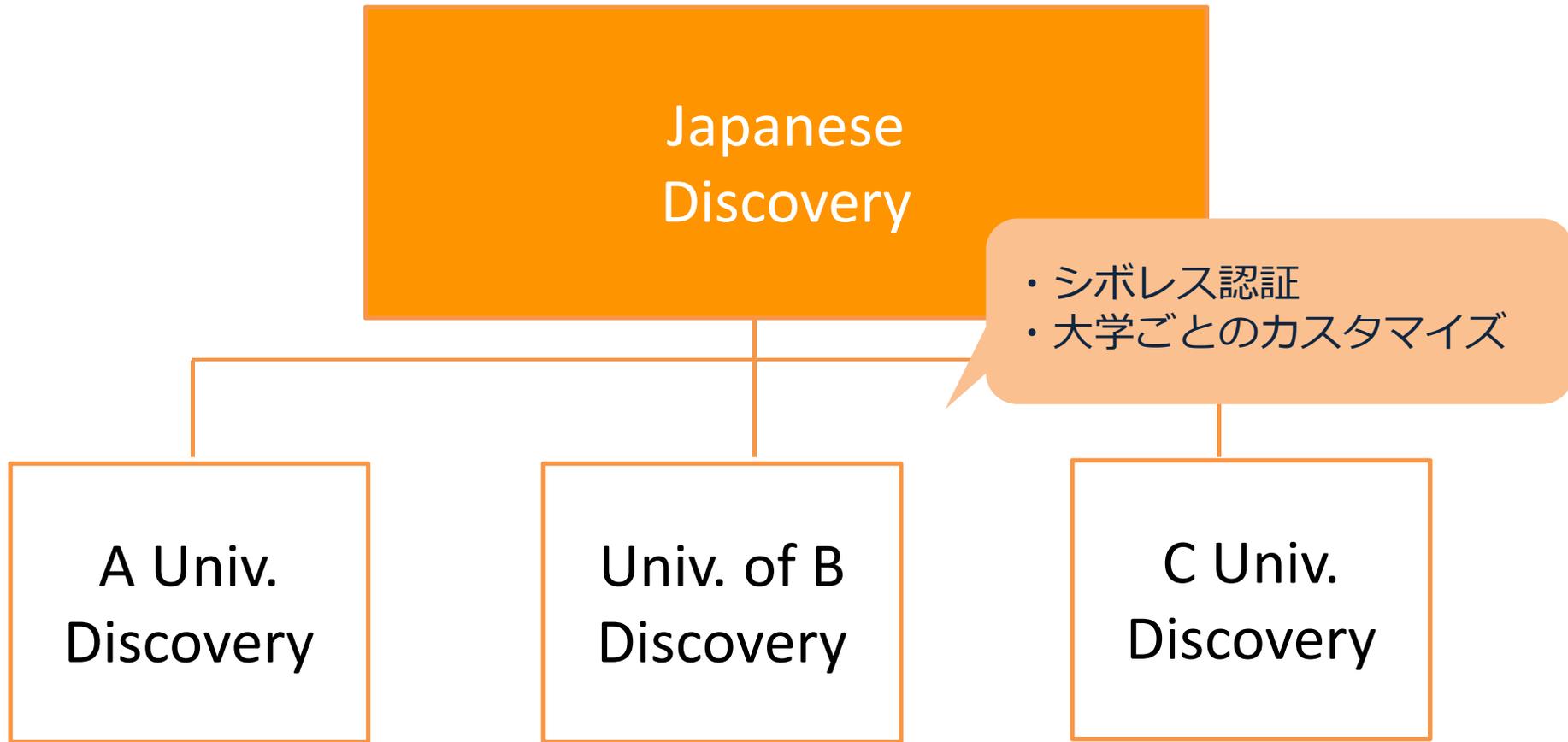
★全体像



共通のサービスプラットフォームを配付することにより、
導入費用を最小限に圧縮

カスタマイズにより大学の特性に応じたサービスを提供 ⁵

★全体像



共通のサービスプラットフォームを配付することにより、
導入費用を最小限に圧縮

カスタマイズにより大学の特性に応じたサービスを提供 ⁶

「Japanese Discovery」に持たせる機能

- 現行ディスカバリーサービスの機能
 - ✓ 一元的な検索
 - ✓ 関連度によるソート
 - ✓ ファセット絞り込み
- ブラウジング機能
- 多言語対応
- マルチデバイス対応

Docが教える道案内



Docとは？

- 人工知能（AI）により生まれた道案内犬
- ユーザの利用行動を学習して最適なナビゲーションを提供
- 全国のレファレンスライブラリアンが育成

ポータル

- ・シボレス認証：ログイン
→属性に合わせたナビゲート

Doc Project

検索

詳細検索



こんにちは！
Docへようこそ！

学生向け



検索

詳細検索

目的を選択する



なにがしたいの？

・ [授業のレポートが書きたい](#)

・ [卒業論文が書きたい](#)

・
・
・

・ [その他](#)

学生向け

Doc Project

詳細検索

[授業のレポートのテーマは？](#)

学習支援の手法 |

利用者の課題を入力してもらおう
(AIによる自動解析)

学生向け

Doc Project

詳細検索

目的に合わせたスタートから
ゴールまでの段階を案内する



レポートを書くのはこの
ステップだね

1. 理解を深める
2. テーマを絞る
3. 先行研究の収集
4. アウトライン作成
5. 執筆
6. チェック
7. 提出

学生向け

段階ごとにやることの
提案を行う

Doc Project

検索

詳細検索



レポートを書くのはこの
ステップだね

1. 理解を深める

文献を調べる

用語を調べる

ニュースをしらべる

2. テーマを絞る

3. 先行研究の収集

Doc Project

ヘルプ | 概要 | フィードバック | 日本語

学修支援 [詳細検索](#)

検索条件を保持 新規検索

検索結果: 学修支援 に一致 7 件

検索条件 適合度

- 本文あり
- 学術文献(査読論文など)
- 新聞記事を除外
- 図書館OPACにある文献
- 学内提供サービス以外を追加

▼ フォーマット

- すべて
- 雑誌論文 (6)
- 図書 / 電子書籍 (1)
- その他...

▼ 主題

- すべて
- pc自動
- バック
- ラーニ
- ラーニ
- 大学生
- 工学教育, 工員教育, 専門基礎
- 融合科目, 体験学習, 実工学, 学

もしかして: **学習支援**

多次元的な学士力養成を担う総合的学修支援報告書: 大学教育・学生支援推進事業(テーマA)大学教育推進プログラム2009-2011年度(平成21-23年度)

お茶の水女子大学 (オチャミズ ジョシ ダイガク)

03/2012, p. 302

[Show 1 more...](#)

基礎看護実習IIIにラベル技法を用いた学修支援～ラベル新聞発行・ラベルワー

7, 号 1, pp. 36 - 47

支援を行った結果、学生の学びの場づくり、知の深化、主体的
の考え方、ラベル技法を用いた学修支援の実態について
の発信、交流を行う「ラベルケーション」、学びを共有、伝承す

英文誌から「親のストレスが子どもの喘息発症や経過に及ぼす影響」

・山本紀子



レポートを書くのは
このステップだね

1. 理解を深める

[文献を調べる](#)

[用語を調べる](#)

[ニュースをしらべる](#)

2. テーマを絞る

3. 先行研究の収集

資料の入手方法の表示
(リンクリゾルバとの一体化)

Doc Project

ヘルプ | 概要 | フィードバック | 日本語

学修支援

検索条件を保持 新規検索

検索結果: 学修支援 に一致 7 件

検索条件

本文あり

学術文献(査読論文など)

新聞記事を除外

図書館OPACにある文献

学内提供サービス以外を追加

▼ フォーマット

すべて

雑誌論文 (6)

図書 / 電子書籍 (1)

その他...

▼ 主題

すべて

pc自動貸出ロッカー (1)

バックアップ (1)

ラーニング・アドバイザ (1)

ラーニング・コモンズ (1)

大学生 (1)

工学教育, 工房教育, 専門基礎融合科目, 体験学習, 実工学, 学

もしかして: 学修支援

多角的な学士力養成を担う総合的学修支援報告書: 大学教育・学生支援推進事業(テーマA)大学

お茶の 03/2012

図書:

基礎看護実習Ⅲにラベル技法を通して

加藤重子

看護学統合研究, ISSN 1346-0692, 2005, 巻 7, 号 1, pp. 36 - 47

基礎看護学実習Ⅲにラベル技法を用いて学修支援を行った結果, 学生の学びの場づくり, 知の深化, 主体的な態度形成が図られた. 参画理論から学生支援の考え方, ラベル技法を用いた学修支援の実際について若干の考察を述べるため...

雑誌論文

英文誌から「親のスト...

山本 紘子

各ステップに適した機能を提案してくれる。

文献情報や調べていて気付いたことをメモ



3. 先行研究の収集

あなたが使える資料

[OPAC\(図書館所蔵\)](#)

[ProQuest Central\(DB\)](#)

[EBSCO \(DB\)](#)

4. アウトライン作成

DocNote

- _____
- _____
- _____

Doc Project

メモを呼び出せる



3. 先行研究の収集

あなたが使える資料

[OPAC\(図書館所蔵\)](#)

[ProQuest Central\(DB\)](#)

[EBSCO \(DB\)](#)

4. アウトライン作成

**DocNote**

研究者向け



検索

詳細検索



先生！これがおすすめです！

- ・ [データベースを調べたい](#)
農学系データベース
 - [AAA](#)
 - [BBB](#)
 - [CCC](#)
- ・ その他

文献管理

検索履歴

- ・ [2016/3/12 検索条件「農業」](#)

研究者向け

Doc Project

The screenshot displays the Doc Project web interface. At the top, there are navigation tabs for 'レコード' (Records), '参照' (References), '検索' (Search), '参考文献' (References), 'フォルダ' (Folders), and 'ヘルプ' (Help). Below these are buttons for 'データベースを検索する' (Search database), 'フォルダの作成' (Create folder), '参考文献の作成' (Create reference), and 'レコードの作成' (Create record). The main content area shows a list of records with columns for '対象レコード' (Target record), '並べ替え' (Sort), and '表示形式' (Display format). A large red arrow points from the bottom right towards the text '機関リポジトリ登録用にメタデータ出力機能' (Metadata output function for institutional repository registration).

- ・ 文献情報の管理機能
- ・ 引用文献の出力機能
- ・ ファイルの保存機能
- ・ 機関リポジトリ登録用にメタデータ出力機能



先生！これがおすすめです！

- ・ データベースを調べたい
農学系データベース
- AAA
- BBB
- CCC
- ・ その他

文献管理

検索履歴

- ・ 資料 1



Doc Project

SNS機能

ユーザ同士の交流
メモの共有・グループチャット
ディスカッションによる気づきの促進



！！思わぬ発見！！
！！Serendipity！！



3. 先行研究の収集

あなたが使える資料

[OPAC\(図書館所蔵\)](#)

[ProQuest Central\(DB\)](#)

[EBSCO \(DB\)](#)

4. アウトライン作成



DocNote

- _____
- _____
- _____

効果

学生

- どうやって調べれば？何を使えば？
 - 本文に辿り着くまでのクリック数が多い
- ↓
- 適切なナビゲーションによって、習熟度に応じた検索から執筆までの幅広い能力が自然に身につく
 - 利用者教育にもつながる
 - 講習会に参加できなくても、学べる仕組み
 - ユーザ層の拡大

効果

研究者

- 検索サービスがたくさんあり、探すのに時間がかかる
 - 出張先／自宅からリモートアクセスができないと困る
 - 研究データの管理に困る
- ↓
- 適切なナビゲーション
 - AIの導入により、24時間365日レファレンスサービスが提供可能に
 - 調査と研究データの管理を同一のプラットフォームで行うことで、効率的な研究活動が可能に

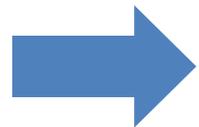
現状

図書館員

- ユーザの目的に沿った情報を適切にナビゲートできているのか・・・？
- 購入しているリソースの活用を促したい

一方で

- ひっ迫する図書館予算



図書館業界全体で活用したい

効果

- 購入しているリソースの最大限の活用
- 共通のサービスプラットフォームにより導入費用を最小限に圧縮
- 成果のリポジトリ出力機能により、セルフアーカイブが促進され、リポジトリ業務の効率化に

★ Japanese Discovery実現に向けて

Discoveryユーザーグループ結成

AI 研究・ Discovery活用事例の調査

Discoveryベンダー・
AI研究者との意見交換

仕様検討

Japanese Discoveryへ

★図書館員は何をする？

- 図書館員のスキル・レファレンス事例をAIに投入
- AIのメンテナンス（エラー解析処理）
- 教育・研究に積極的に関与
- データの収集から発信・活用へ



ご清聴ありがとうございました